

# 渚西中だより

令和7年3月24日(月) 第6号  
枚方市立渚西中学校  
校長 野口 明郎

校訓『自律・協調・努力』

## 本日令和6年度修了式を終えました

本日、令和6年度修了式を終えました。保護者の皆さまには、今年度も様々な場面において、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきましたことに深く感謝いたします。

さて、先日第42回卒業証書授与式を終え、立派に成長した卒業生が本校を羽ばたきました。本校での新たな取組みの先陣を切って進んでくれた卒業生の姿は、1年生・2年生の後輩にも素晴らしいお手本になってくれました。式辞でも述べさせていただいたように、**卒業後も様々な出来事に「なぜ?」と疑問を持ち続けることを忘れず、それぞれの可能性を大きく広げてくれることを期待しています。**

また、1・2年生の皆さんには、今年度も多くの皆さんにご覧いただけた、本校の良さや素晴らしさである「素直さ・前向きさ」「温かさ・優しさ」を大切に、テストなどの数値では測れない**様々な力の土台となりゆく、「社会で必要とされる力」は何なのかを次年度も学校の主体者である皆さんとともに考え、その力を身に付けてもらいたいと思います。そして、すべての生徒が自分自身の良さだけでなく周りの友人も含めた人々の良さを感じ、多くの人と協力し合いながら、様々な課題を乗り越えていけるような力を身に付けていける渚西中学校でありたいと思います。**

結びとなりますが、保護者の皆さまには、令和7度も引き続き、本校教育に対し、ご理解・ご支援いただけますよう宜しくお願いいたします。

本校のブログでも学校の様子や情報を発信しています

【修了式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】

今年度を振り返り以下の話をしました。

### これからも社会で生きる力を渚西中学校で身につけていこう!

本校に着任したこの2年間の間、枚方市内だけでなく他府県も含めて先進的に教育

活動に取り組む学校を見てきました。訪れた学校の多くの生徒の姿は、**知識の習得方法も受け身でなく、自分自身で考えている姿や得た知識を周りの人に伝えるために工夫してまとめる姿、まとめたものをわかりやすく説明する姿、友人とともに様々な立場や視点を踏まえ、多面的・多角的に学びを深める姿など「社会で生きる必要な学び」を想定した学びを感じました。**

例えば、社会の授業でこれまでなら、源頼朝という人物名、鎌倉幕府を開いたこと、そして幕府を開いた1185年という年号、幕府の仕組み・・・これらの知識があれば、ある一定評価されてきたはずですが、しかし、このような知識だけでは、社会で活かされる場面も限られてくるはずですが。**これからは、源頼朝がどのような背景があつて幕府を開くことになったのか。また、開かれた幕府は、様々な立場の人々にとってどのような影響や変化をもたらし、どのような課題が生じたのか?・・・このように1つの知識をもとに社会で活かされる見方・考え方をもとに学びを深めることで、初めてその知識が活かされてきます。**そして、その活きた学びの姿は本校でも少しずつ身につけてきたように感じます。

今後、AIの活用等も含め、社会で必要とされる力もさらに変化していくかも知れませんが、本当に必要とされる力を来年度も更に身につけていけていきたいと思います。

